JPRS サーバー証明書発行サービス

CSR 生成手順

Microsoft IIS 10.x （新規/更新）

Version 1.0

株式会社日本レジストリサービス（JPRS）

更新履歴

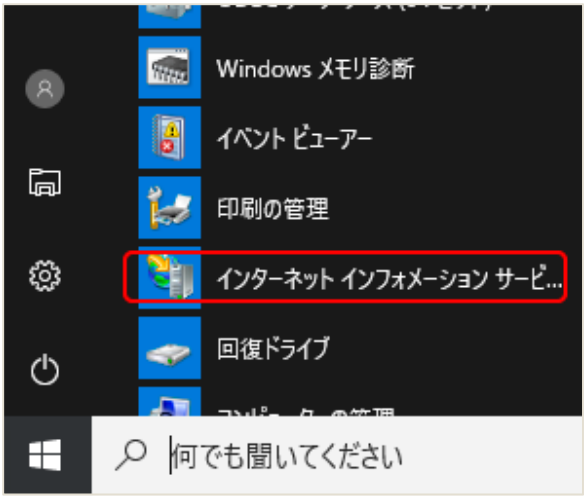
日付	Version	
2021/06/30	1.0	初版リリース

1. ログオン

Windows Server 2012 に Administrator 権限でログオンします。

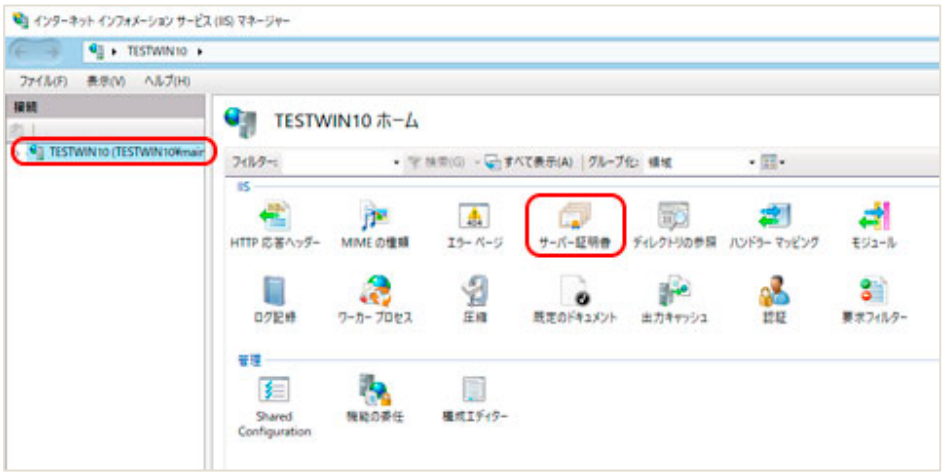
2. インターネットインフォメーションサービス(IIS)マネージャの実行

画面左下のスタートより、W の欄にある[Windows 管理ツール]［インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャ タイル］ を実行します。



3. ［サーバー証明書］アイコンの選択

画面左の「接続」にあるサーバー名を選択し、画面中央「ホーム」にある［サーバー証明書］アイコンを実行します。



画面の中央と右の表示が変わります。

4. 証明書の要求ウィザードの表示

画面の中央に「サーバー証明書」のリスト・ボックスが表示されましたら、画面右にある［証明書の要求の作成...］メニューを実行します。

<証明書の要求>ダイアログがポップアップします。

5. 識別名(DN)情報の入力

「識別名プロパティ」に証明書内に組み込む識別名(DN)情報を入力します。

この情報を入力する際は、以下の点にご注意ください。

- 各項目の入力はすべて半角の英数字 64 文字以内で入力してください。英字のない入力項目がある場合、証明書が発行されません。

- 識別名に使用できるのは、**算用数字、アルファベット、空白、アポストロフィー (')、ハイフン (-)、ピリオド (.)、コロン (:)** です。
- &が含まれる場合は、 半角英語の　and　等に置き換えてください。
- スペースのみの入力は控えてください。スペースのみの入力項目がある場合、**証明書が発行されません。**

各項目については以下を参照してください

- **一般名(M)：**
  SSL 通信を行うサイトの Web サーバー名 (コモン・ネーム) になります。
  例）SSL 通信を行うサイトの URL が <https://www.jprs.jp/> の場合、
  Web サーバー名は「**www.jprs.jp**」になります。

  ※注意点
  Web サーバー名に以下を使用することはできません。
  - ○ プロトコル特定子 (http://)
  - ○ IP アドレスやポート番号
  - ○ パス名
  - ○ 「*」 や 「?」 のワイルドカード文字

  Web サーバー名は、SSL 通信を行うサイトの URL の FQDN (Fully Qualified Domain Name) と同一でなければなりません。証明書に登録する Web サーバー名と URL が一致しない場合、ブラウザがサイトへの安全な接続を拒否する場合があります。

  例えば、コモン・ネームを　「jprs.jp」　とし証明書を発行した場合、<https://www.jprs.jp> でアクセスすると、Web サーバー名と完全には一致しないため、 ブラウザでは警告が表示されます。

- **組織(O)：**
  申請組織名（証明書発行先の組織名）です。
  例）日本レジストリサービスの場合
  「**Japan Registry Services Co., Ltd.**」

- **組織単位(OU)(U)：**
  部署又はグループの名前になります。
  スペースのみの入力は控えてください。
  この項目は省略できません。また、以下の情報は入力しないでください。
  ・ドメイン名および IP アドレス
  ・ 記号のみ、およびスペースのみの値
  ・ 「空欄」「該当なし」などの意味を示す文字列（「null」、「N/A」など）
  ・ 申請組織以外の情報と誤解される恐れのある名称・社名・商号・商標
  ・ 法人格を示す文字列（「CO.,Ltd」など）
  ・ 特定の自然人を参照させる文字列
  ・ 住所を示す文字列
  ・電話番号

- **市区町村(L)：**
  通常、組織の本店(代表)が置かれている市区町村名になります。
  例）千代田区の場合「**Chiyoda-ku**」

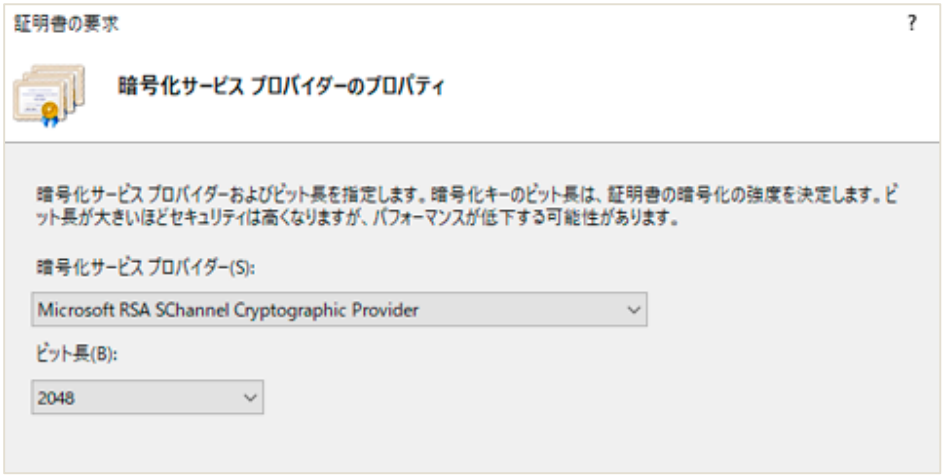
- **都道府県(S)：**
  都道府県名になります。
  例）東京都の場合「**Tokyo**」

- **国/地域(R)：**
  ISO による 2 文字の国名の符号になります。
  日本国となりますので「**JP (日本)**」を択一してください。

入力内容をよく確認し、［次へ(N)］ボタンを実行します。

6. 暗号化サービスプロバイダのプロパティの設定

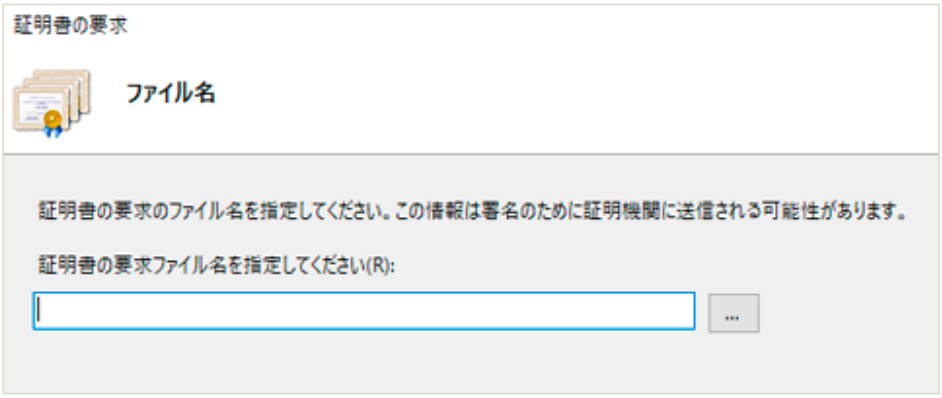
［暗号化サービス プロバイダ(S)］のプルダウンから［Microsoft RSA SChannel Cryptographic Provider］を択一し、［ビット長(B)］は［2048］を択一します。



内容を確認し、［次へ(N)］ボタンを実行します。

7. ファイル名の入力

CSR を保存するファイル名を入力します。



入力したファイル名を確認し、［終了(F)］ボタンを実行します。
指定したフォルダに CSR が格納され、ダイアログが閉じます。

8. 生成されたファイルの確認

CSR を含むファイルをメモ帳などで開きます。

以下の「-----BEGIN NEW CERTIFICATE REQUEST-----」から「-----END NEW CERTIFICATE REQUEST-----」までの部分が CSR です。

CSR サンプル

```
----BEGIN NEW CERTIFICATE REQUEST-----
MIICdzCCAiECAQAwZzEQMA4GA1UEAxMHbHJhLXRmczEQMA4GA1UECxMHczEQMA4GA1UE
ChMHbHJhLXRmczESMBAGA1UEBxMJTWlOYWthc2hpMQ4wEwVUb2t5bzELMAkGA1UEBhMC
SIAwXDANBgkqhkiG9w0BAQEFAANLADBIAktF2t+iHqA2nWqt7UYwApptgsYVFrkmXIUH
tZifBz8FOhsBelFbCT33po+9zrWzmRga8DDhxSdujmxGZHOwIDA0ABoIIBUzAaBgorBg
EEAYI3DQIDMQwWCjUuMC4LjIwNQYKKwYBBAGCNwIBDjEnMCUwDgYDVR0PAQH/BAQDAgT
wMBMGA1UCCsGAQUFBwMBMH9BgorBgEEAYI3DQICMYHuMIHrAgEBHIoAT0BpAGMAcbwB
mAH0AIABSAFMA00AgAFMA0wBoAGEAbg
-----END NEW CERTIFICATE REQUEST-----
```

ここで生成した CSR は、申込み画面に貼り付けて申請していただきます。

以上で CSR の生成は完了です。

※重要
通常、IIS では鍵ペアのエクスポート/インポートは行えません。

同じコモンネーム（一般名）で複数の CSR を生成する場合は、DN 情報の一部（部門名など）を変更してください。